

レンズの差について

3代目のメガネ
ちょこっと
コラム

安いレンズと高いレンズの 差はなあに?

こんにちは、三代目松

この度は遠近両用レンズの価格差についてうんちくを語らせていただきます。

まず、思いつくのは薄さだと思います。私が通常レンズ（屈折率1.50）で眼鏡を作ると厚さが13mm。一番薄型（1.76）で作ると、厚さが約3.5mmまで薄くすることが出来ます。

次に歪みの少なさ。遠近両用レンズは、上部から下部にかけて度数を変化させるので正面はいいですが、周辺は歪みが大変大きくなります。『遠近は怖い』というのは歪みで足元がフワッと見えるのが原因です。遠くも近くもハッキリ見え歪みを少なくするため、あの小さなレンズに日本の最高技術がいくつも詰め込まれています。現在は、近視や乱視、老眼の強さ、度数の変化、選んだフレームの形状、掛け具合、運転の有無、趣味などに合わせる、フルオーダーのレンズも登場しています。

現在は、レンズコートも多様な種類があります。フライパンのテフロン加工のように手入れが楽、太陽やPCなど眩しさを抑え疲れにくくする、超UVカットなどたくさんの種類があります。

意外なところで、**保証制度**。度数交換制度や傷交換制度があるレンズもあります。

『メガネの松田』では、スタッフが、お客様の目の状態、用途、お財布とよく相談させて頂き、より良い眼鏡選びのお手伝いをいたします。



運転専用メガネを作りませんか？

医療機器メーカー ニデックさん協賛

日本に
数台しかない
OPDによる

夜間視力 & 深視力チェック!!

11/21月～11/30水 メガネの松田
高松店にて

特別な機械で夜間の視力を測定できます

お問い合わせ メガネの松田 高松店 019-665-1222

